

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第20期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社パピレス
【英訳名】	PAPYLESS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松井 康子
【本店の所在の場所】	東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
【電話番号】	03-3590-9460（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務・経理部長 須永 喜和
【最寄りの連絡場所】	東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
【電話番号】	03-3590-9460（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務・経理部長 須永 喜和
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第1四半期 累計期間	第20期 第1四半期 累計期間	第19期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	1,308,797	1,560,630	5,578,046
経常利益 (千円)	94,862	166,424	497,749
四半期(当期)純利益 (千円)	59,795	104,194	313,088
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	414,462	414,462	414,462
発行済株式総数 (株)	1,290,860	1,290,860	1,290,860
純資産額 (千円)	1,924,938	2,313,495	2,221,874
総資産額 (千円)	2,968,664	3,562,270	3,501,841
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	48.62	82.90	252.92
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	48.35	82.22	249.84
1株当たり配当額 (円)	-	-	10.00
自己資本比率 (%)	64.8	64.9	63.4

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益については、当社は、非連結子会社及び関連会社を有しておりませんので、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社は子会社及び関連会社がありませんので、財政状態及び経営成績の状況の分析並びに検討内容は、当社の財務諸表に基づいて分析した内容であります。また、当社の事業は電子書籍事業のみであり、事務所も本店のみとなっているため報告セグメントはありません。

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 財政状態の分析

(資産の部の分析)

流動資産は、前事業年度末と比べて68,995千円(2.2%)増加し、3,273,907千円となりました。

主な増加内容として、現金及び預金が59,563千円増加、売掛金が26,450千円増加しています。

固定資産は、前事業年度末と比べて8,566千円(2.9%)減少し、288,362千円となりました。

主な減少内容として、投資その他の資産が8,202千円減少しています。

なお、当第1四半期累計期間において、重要な設備の新設および除却は発生していません。

この結果、資産合計は、前事業年度末に比べて60,428千円(1.7%)増加し、3,562,270千円となりました。

(負債の部の分析)

流動負債は、前事業年度末と比べて、31,192千円(2.4%)減少し、1,248,774千円となりました。

主な増減内容として、買掛金が25,793千円増加、未払金が24,442千円増加、未払法人税等が78,104千円減少、賞与引当金が22,340千円減少しています。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて31,192千円(2.4%)減少し、1,248,774千円となりました。

(純資産の部の分析)

純資産合計は、前事業年度末と比べて、91,621千円(4.1%)増加し、2,313,495千円となりました。

主な増減内容として、四半期純利益104,194千円の獲得および配当金12,568千円の支払いを計上しています。

この結果、自己資本比率は64.9%(前事業年度末は63.4%)となりました。

(2) 経営成績の分析

当第1四半期累計期間における我が国経済は、当初、アベノミクスへの期待による企業心理が改善するなか、日本銀行の金融緩和政策を受け、緩やかに上昇を続けていましたが、直近では、期待先行による改善が一服し、一時的に足踏み状態となっています。

通信端末の市場環境は、IDC Japan株式会社の調査では、平成25年1月～3月のスマートフォンの国内出荷台数が、681万台(前年同期比4.0%増)にとどまり、スマートフォン需要の成長鈍化の兆候が見られます。

電子書籍の市場環境は、株式会社インプレスビジネスメディア『電子書籍ビジネス調査報告書2013』では、平成24年度は729億円(前年度比15.9%増)と推計されています。また、これまで電子書籍市場の中心を担ってきた、携帯向け電子書籍市場は、351億円(前年度比26.9%減)と推計されていますが、新たなプラットフォーム(スマートフォンやタブレット端末等)向け電子書籍市場は、368億円(前年度比228.6%増)と、携帯向け電子書籍市場の落ち込みを上回るほど急速に拡大しています。同報告書では、平成25年度以降は、新たなプラットフォーム向け電子書籍市場が市場の中心となり、平成29年度の市場規模は、平成24年度の約3.3倍の2,390億円程度になると予測されています。

当社を取り巻く事業環境は、大手企業の参入が相次ぎ、競争が激化しています。この結果、掲載コンテンツの需要が増加し、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入コスト上昇のリスクが高まっています。また、集客を強化するための広告宣伝や販促コストも拡大傾向となっています。

このような環境の中で、当社は、顧客第一主義のもと、サービスの向上と差別化によって、売上高を伸ばすとともに、収益体質の改善に努めています。

売上原価については、コンテンツホルダーへのきめ細かな営業活動によって、これまでの仕入コストの比率を維持し、その上昇リスクを抑制することができました。

また、販売費及び一般管理費については、広告宣伝や販促のコストは増加したものの、継続的な内容見直しを行い、その効率化を進めた結果、売上高に対する比率を引き下げることができました。代金回収手数料の低い決済利用の増加も収益体質の改善に寄与しました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,560,630千円（前年同期比19.2%増）、営業利益は160,670千円（前年同期比57.4%増）、経常利益は166,424千円（前年同期比75.4%増）、四半期純利益は104,194千円（前年同期比74.3%増）となりました。

以下、事業の業績を示すと次のとおりであります。

< 電子書籍事業 >

本店による電子書籍販売

当第1四半期累計期間においても、引き続き3P（プロモーション・プレイス・プロダクト）戦略による販売拡大を図りました。プロモーション戦略とは、広告やポイント付与等を用いた集客施策を指し、プレイス戦略とは、サイト改良やサイトを利用する上での、サービス内容改良等によるユーザー利便性の向上施策を指し、プロダクト戦略とは、掲載冊数拡充などのコンテンツ施策を指します。

プロモーション戦略としては、効果の高い広告の選定やポイント付与施策等、購買に結びつく集客に注力しました。また、Twitter、Facebookを活用してのPR企画も継続して行っております。

プレイス戦略としては、「電子貸本Renta!」のサイト改良や、スマートフォン、タブレット端末対応の書庫アプリ改良を行う等、ユーザーがより使いやすいサービス提供を目指しました。また、英語版「電子貸本Renta!」では、新規決済手段としてアジア圏で普及している電子マネーを導入しています。さらに、販路拡大のため、中国繁体字版「電子貸本Renta!」の開設準備を行いました。

プロダクト戦略としては、コミック、小説・ノンフィクション、ビジネス書、趣味実用書等、幅広いジャンルの書籍を入荷しました。新規施策としては、当社が独自開発したデジタルならではの動きを付加したコンテンツである、「ReComic」の提供や、女性向け人気雑誌の月額読み放題サービスを開始しています。また、電子書籍作品投稿サイト「upppi」において、オリジナルコンテンツの開拓を進めています。

なお、平成25年6月末現在における掲載冊数は182,273冊（コミック64,516冊、小説・ノンフィクション62,918冊、写真集33,345冊、その他21,494冊）、当第1四半期累計期間における販売冊数は5,710,623冊（コミック5,143,753冊、小説・ノンフィクション407,669冊、写真集25,399冊、その他133,802冊）となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における本店による電子書籍販売の売上高は1,503,528千円（前年同期比16.6%増）となりました。

提携店を通じた電子書籍販売

ヤフー株式会社、Amazon社等のポータルサイトやECサイトとの提携による、電子書籍委託販売や取次販売を行っております。また、中国、台湾、韓国等のアジア圏を中心とした海外サイトと提携し、海外への販売活動を行っています。

当第1四半期累計期間における提携店を通じた電子書籍販売の売上高は56,031千円（前年同期比252.4%増）となりました。

その他

その他、電子書籍の図書制作売上等を計上しております。

当第1四半期累計期間におけるその他の売上高は1,070千円（前年同期比67.6%減）となりました。

（注）「Twitter」は、Twitter, Inc.の商標です。

「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期累計期間における研究開発活動の金額は、8,038千円であります。

なお、当第1四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,500,000
計	4,500,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,290,860	1,290,860	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	1,290,860	1,290,860	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	1,290,860	-	414,462	-	189,389

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 34,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,255,800	12,558	-
単元未満株式	普通株式 1,060	-	-
発行済株式総数	1,290,860	-	-
総株主の議決権	-	12,558	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
株式会社パピレス	東京都豊島区 東池袋3-23-14	34,000	-	34,000	2.63
計	-	34,000	-	34,000	2.63

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,976,493	2,036,056
売掛金	794,128	820,578
有価証券	265,812	264,232
コンテンツ資産	1,044	875
その他	171,055	156,216
貸倒引当金	3,621	4,052
流動資産合計	3,204,912	3,273,907
固定資産		
有形固定資産	7,787	7,423
無形固定資産	234	234
投資その他の資産	288,908	280,705
固定資産合計	296,929	288,362
資産合計	3,501,841	3,562,270
負債の部		
流動負債		
買掛金	595,507	621,300
未払金	309,302	333,744
未払法人税等	128,711	50,607
賞与引当金	35,303	12,963
その他	211,142	230,158
流動負債合計	1,279,967	1,248,774
負債合計	1,279,967	1,248,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,462	414,462
資本剰余金	189,389	189,389
利益剰余金	1,688,322	1,779,948
自己株式	70,311	70,311
株主資本合計	2,221,862	2,313,488
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	7
評価・換算差額等合計	12	7
純資産合計	2,221,874	2,313,495
負債純資産合計	3,501,841	3,562,270

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,308,797	1,560,630
売上原価	541,808	640,495
売上総利益	766,988	920,135
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	405,742	468,916
代金回収手数料	126,351	137,525
貸倒引当金繰入額	2,545	2,833
賞与引当金繰入額	6,075	7,892
その他	124,189	142,296
販売費及び一般管理費合計	664,903	759,464
営業利益	102,085	160,670
営業外収益		
受取利息	911	723
退会者未使用課金収益	7,495	5,810
その他	-	0
営業外収益合計	8,406	6,534
営業外費用		
為替差損	15,629	779
営業外費用合計	15,629	779
経常利益	94,862	166,424
税引前四半期純利益	94,862	166,424
法人税、住民税及び事業税	28,064	49,293
法人税等調整額	7,002	12,936
法人税等合計	35,066	62,230
四半期純利益	59,795	104,194

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

退会者未使用課金収益

ユーザーが電子書籍コンテンツをダウンロード又は閲覧するために、前もって購入したポイントのうち、当第1四半期累計期間において失効した金額を「退会者未使用課金収益」として計上しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	617千円	363千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	12,568	10	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【セグメント情報】

当社は、電子書籍事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	48円62銭	82円90銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	59,795	104,194
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	59,795	104,194
普通株式の期中平均株式数(株)	1,229,916	1,256,816
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	48円35銭	82円22銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	6,787	10,500
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 6日

株式会社パピレス
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 向 眞生

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 磯崎 実生

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社パピレスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第20期事業年度の第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社パピレスの平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。